

## 上尾市都市計画マスタープラン 2020

令和 5 年度評価・進行管理における質問・回答

質問 No.	分野別 方針	個別 分野	内 容	回答 ページ
1	土地利用	なし	「土地区画整理事業の整備率」の計算方法を教えてください。また、総事業費が増額すると整備率が減少する理由を教えてください。	P 3
2	都市施設	公園・ 緑地	緑の景観地登録件数について、公有地化したものがあるけれども、件数は増えてないとの理解でよいでしょうか。また、目標指標がすべて「2」ということであれば、件数ではない数値を指標とするのが適切ではないでしょうか。	P 4
3	公共交通	バス等	市民意識調査による交通満足度について、目標値を達成しました。今後の取り組み、目標指標をどうするか検討されていることはありますか。	P 5

質問 No. 1

- 「土地区画整理事業の整備率」の計算方法を教えてください。また、総事業費が増額すると整備率が減少する理由を教えてください。

- 「土地区画整理事業の整備率」の目標指標は、現在上尾市で施行中の大谷北部第二土地区画整理事業（組合施行）を対象として、“土地区画整理事業に要する事業費”に対する、“支出済み事業費”の割合で算出しております。
- これは、土地区画整理事業の性質として、土地区画整理事業に要する事業費である工事費や移転補償費等に対し、保留地を創出し、それを処分（売却）することで収支をバランスさせているため、事業に必要な費用（１００％）に対して支出した費用の割合が進捗率と考えられるためです。
- このため、事業計画の変更により、“支出済み事業費”に変更がなく“土地区画整理事業に要する事業費”が増額されますと、整備率が減少することになります。
- なお、大谷北部第二土地区画整理事業は、現在土地及び建物の登記事務を進めておりまして、令和１０年度の施行完了を目標としています。

質問 No. 2

- 緑の景観地登録件数について、公有地化したものがあるけれども、件数は増えてないとの理解でよいでしょうか。また、目標指標がすべて「2」ということであれば、件数ではない数値を指標とするのが適切ではないでしょうか。
- 緑の景観地は、埼玉県「ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例」に基づき、武蔵野の面影を残す雑木林など、相当な広さにわたり埼玉らしさを感じさせる樹林を中心とした優れた景観を有する区域を指定するもので、本市では「藤波・中分ふるさとの緑の景観地（約6.3ha）」と「原市ふるさとの緑の景観地（約4.9ha）」の2か所を指定しております（令和2年4月時点）。
- 「緑の景観地登録件数」の目標指標は、この2つの緑の景観地について、引き続き良好な緑地として維持・保全に努めていくことと設定しており、公有地化につきましては、その取組みの一つとして埼玉県と協働して進めているもので、ご理解のとおり指定登録件数は増えておりません。
- また、目標指標につきましては、「上尾市都市計画マスタープラン2020」の計画期間におきまして、本市の良好な緑地保全に係る施策を推進する上で、適切な指標であると考えておりますが、次期都市計画マスタープランの策定に際しましては、進捗管理を念頭とした数値の推移が確認できる指標につきましても検討していきたいと考えております。

質問 No. 3

- 市民意識調査による交通満足度について、目標値を達成しました。今後の取り組み、目標指標をどうするか検討されていることはありますか。

- 「市民意識調査による交通満足度」の目標指標は、公共交通に係る施策の取り組みの成果を確認することを目的として、上尾市市民意識調査による上尾市の住環境に関する事項から“バスなどの公共交通の利便性”の現状の満足度を指標としたものでございます。
- 令和５年度に実施した上尾市市民意識調査の結果、計画策定時点の目標値を達成（目標１０％に対して実績１２．５％）したところでございますが、今後につきましては、令和７年４月１日より、市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直しを予定しており、運行見直し後の効果検証を踏まえ、目標値の妥当性も含めた今後の指標のあり方について検討していきたいと考えております。